

飯能市教育委員会の事務に関する点検評価報告書

(令和2年度事業)

<目次>

1 はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2 点検評価の基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・	1
3 飯能市教育行政の重点施策について・・・・・・・・	2
4 重点施策に基づき取り組んだ事業の評価・・・・・・・・	29
5 教育委員会の活動状況と評価・・・・・・・・	30
6 学識経験者の意見等・・・・・・・・	33
7 おわりに・・・・・・・・	35

令和3年7月30日

飯能市教育委員会

1 はじめに

この報告書は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律（昭和31年法律第162号。以下「法」という。）第26条第1項の規定に基づき、飯能市教育委員会（以下「教育委員会」という。）が毎年度教育行政の基本方針として定めている「飯能市教育行政の重点施策」に関し、令和2年度に重点的に取り組んだ事業について、点検及び評価を実施した結果をまとめたものです。

2 点検評価の基本方針

（1）目 的

教育委員会では、その権限に属する事務の管理及び執行の状況について自ら点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出するとともに、市民に公表することとしています。

この点検及び評価は、より効果的な教育行政の推進に資するとともに、市民に対する説明責任を果たしていくことを目的に実施するものです。

（2）点検評価の対象及び方法

教育委員会では、毎年度「飯能市教育行政の重点施策」を定めています。この重点施策は、教育委員会がその年度に重点的に取り組むべき施策として定めているものです。

この重点施策に基づき各所管で事業を展開し、その事業の成果等について教育委員会が定めた基準に基づき、教育委員会が自ら点検及び評価を実施するものです。

点検及び評価の実施に当たっては、評価の客観性を確保する観点から学識経験者等の知見の活用を図ることが法に規定されており（法第26条第2項）、これを受けて教育委員会では、令和3年6月に、駿河台大学の教授から評価結果に対するご意見をいただきました。

<学識経験者>

駿河台大学	経済経営学部教授	佐川 和彦 氏
駿河台大学	経済経営学部教授	増田 珠子 氏

3 飯能市教育行政の重点施策について

飯能市教育委員会では、令和２年度に取り組むべき重点施策を以下のとおり定めしました。

<令和２年度飯能市教育行政の重点施策>

基本理念 「共に学び 未来を拓く 人づくり」

基本方針

- I 生きる力を育成する学校教育に取り組みます。
- II 安心・安全で質の高い学習環境づくりに取り組みます。
- III 学校・家庭・地域が連携した教育に取り組みます。
- IV 地域の魅力を感じられるいきいきとした生涯学習に取り組みます。
- V スポーツを通じて、元気で活力のあるまちづくりの推進に取り組みます。

次ページ以降に記載の各重点施策の該当項目に、各所管が掲げている令和２年度の事業名と結果、達成率、評価等を表記しています。

評価の基準は下記のとおりです。

◇評価の基準

評価点	達成割合	説 明
S	100%を超える	達成度、成果ともに期待を上回る
A	100%	目標を達成し、達成度、成果ともに期待どおり
B	90～100%未満	100%ではないが、概ね目標を達成し標準的レベル
C	75～90%未満	達成度、成果が目標をやや下回る
D	75%未満	達成度、成果ともに期待を（顕著に）下回る

基本方針Ⅰ 生きる力を育成する学校教育に取り組みます。

施策1 確かな学力と自立する力の育成

(1) 確かな学力の育成

- ① 「わかる喜び・できた喜び・成長した喜びを実感させられる授業づくり」の推進
 ◇ 授業の「質と平等」を同時に追求する「学びの改革」を推進、協同的な学びによる授業を充実していきます。

関連する事業 【部署名】	事業名 「学びの改革」の推進、協同的な学びによる授業の充実 【学校教育課】
目 標	学びの共同体の理念による「学び合い」に全市をあげて取り組むことにより、誰一人漏れることのない質の高い教育を目指す。
結果及び成果	校長会議、教頭会議等を中心に、学びの共同体の理念による「学び合い」に各校で取り組むこと、全ての教員が1年に1回以上授業を同僚に公開する学校研究を充実させるべきこと等について、事あるごとに訴えかけた。学校間で温度差はあるが、学びの改革は確実に進んでいる。
達成率	90%
評 価	B
課 題 と 方 向 性	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い学校指導訪問を中止とし、学校研究支援についても派遣依頼に応じていたため特定の学校に傾いてしまった。令和3年度は、学校指導訪問や学校研究支援を積極的に行い、各学校の学びの改革を強力に支援していく。

- ◇ 新学習指導要領の趣旨を踏まえ、「主体的・対話的で深い学び」の実現を進めます。
 ◇ 学校の教育力を高めるための「学校研究」を充実させ、質の高い学びを保障する研修を進めます。
 ② 学習状況を把握し児童生徒一人一人を伸ばす教育の推進
 ◇ 「1人1台」のタブレット端末を活用した、協同的で探究的な授業づくりを進めます。

関連する事業 【部署名】	事業名 「1人1台」のタブレット端末を生かした協同的で探究的な授業づくりの推進 【学校教育課】
目 標	「1人1台」のタブレット端末を導入することにより学びの改革を加速させる。
結果及び成果	令和2年9月1日、県内他市町村に先駆けて、市内公立小・中学校の全児童生徒、教職員に学習用タブレットを整備することができた。各学校の工夫した活用方法については、毎月の「学習用タブレット活用状況記録表」や「飯能市GIGAスクール担当者会議」で共有し、市全体として学習用タブレットの活用方法についての研究が進んだ。
達成率	100%超
評 価	S
課 題 と 方 向 性	「教える」ツールではなく、「学び」のツールとして焦点化していく必要がある。特に、協同的で探究的な学びの実現に向けて、一人一人の考えたことを一瞬にして共有できることにより更に深い思考と協議を促すコミュニケーションツールとして、LTE型タブレットの利点を生かしていつでもどこでも調べることのできる探究ツールとして、ベクトルを明確にするよう各学校に指導していく。

◇ 「全国学力・学習状況調査」「埼玉県学力・学習状況調査」等の結果の分析に基づく学習改善を進めます。

③ 学習習慣形成の推進

④ 小・中学校 9 年間を一貫した教育の推進

◇ 奥武蔵創造学園の小中一貫教育をモデルケースとして、系統性・連続性を踏まえた教育課程の編成を進めます。

(2) 伝統と文化を尊重しグローバル化に対応する教育の推進

① 伝統と文化を尊重する教育の推進

② グローバル化の進展に対応する力を育む教育の推進

③ 外国語教育の推進

(3) 社会の変化に対応する教育の推進

① 教育の情報化の推進

◇ タブレット端末の整備・活用など、I C Tを活用した授業づくりを進めるとともに、児童生徒の情報活用能力、問題解決能力、更に情報モラルの育成を進めます。

関連する事業 [部署名]	事業名 I C Tを活用した授業づくり、情報活用・問題解決能力、情報モラルの育成の推進 【学校教育課】
目 標	児童生徒の情報活用能力、問題解決能力、情報モラルの育成を推進する。
結果及び成果	これまで児童生徒にとっては、時々、交代で、I C Tを活用する状況であったが、昨年 9 月以降、児童生徒一人一人がいつでも学習用タブレットを活用できるようになったため、情報活用能力や問題解決能力の育成に向けて大きく飛躍できた。情報モラルの育成に関しては、飯能市 G I G A スクール推進担当者会議等で児童生徒の活用状況や課題を小まめに市全体で共有することにより、ネット接続制限時間帯の変更、アプリの使用制限等を行った。
達成率	100%
評価	A
課題と方向性	情報モラルの育成に関しては、サイバーリンチ等、SNSによるネットいじめ、ネット暴力が社会問題化しているため、児童生徒の発達段階に応じて、より踏み込んだ指導を工夫していく必要がある。

◇ プログラミング教育の指導方法の工夫・改善の取組を進めます。

② 環境教育の推進

③ キャリア教育の推進

④ 特別支援教育の推進

◇ 切れ目のない支援体制の構築に向けた幼保小と関係各課との連携を進めます。

(4) 生きる力の基礎を育む幼稚園教育の充実

① 少人数の良さを生かした教育の推進

◇ 異年齢の交流を通して人と関わる力の育成を進めます。

② 恵まれた自然を生かした教育の推進

◇ 幼稚園を取り巻く自然を生かした活動を進めます。

施策2 豊かな心と健やかな体の育成

(1) 豊かな心を育む教育の推進

- ① 道徳教育の推進
 - ◇ 「特別の教科 道徳」の充実に向けて、指導方法の工夫・改善を進めます。
- ② 読書活動の推進
- ③ 人権教育の推進
- ④ 教育相談活動の充実
- ⑤ いじめ・不登校対策の推進
 - ◇ 「飯能市いじめ防止基本方針」に基づき、いじめの根絶に向けた取組を進めます。
- ⑥ 生徒指導の充実
 - ◇ 児童生徒一人一人に対する理解に基づいた生徒指導を進めます。

(2) 体力の向上と健康の保持・増進

- ① 体力向上の推進と学校体育の充実
 - ◇ 思い切り汗をかく体育授業の充実と新体力テストの分析に基づく授業改善を進めます。

関連する事業 [部署名]	事業名 体育授業の充実と新体力テストの分析に基づく授業改善の推進 【学校教育課】
目 標	運動量を確保し、体を動かす喜びを味わうことのできる授業づくりを推進する。
結果及び 成 果	臨時休業期間が2ヶ月に及んだため、新体力テストは行わなかった。また、年間を通して、感染予防策を最大限にとる必要があったため、感染状況によっては密集する運動を制限せざるを得なかった。しかし、そのような中でも、感染防止対策を十分にとりながら、運動量を確保するとともに、体を動かす喜びを味わうことのできる授業を行うことができた。
達 成 率	100%
評 価	A
課 題 と 方 向 性	引き続き、友達とともに技能や体力を向上させる喜びを味わうことのできる授業づくりと、生涯スポーツにつながる運動の生活化を目指し、体育の授業を中心に工夫していく必要がある。今後は特に、技能や競技、演技の写真や動画を撮り合うことによって技能の向上を目指すなど、学習用タブレットの有効活用を更に工夫していく必要がある。

- ② 食育の推進
 - ◇ 学校教育における地場産物の活用を推進し、食に対する理解、関心を高め、食育を進めます。

③ 学校給食の充実

- ◇ 市内全15か所の学校給食施設の民間委託化完了に向けた、飯能第一小学校、原市場中学校の民間委託導入準備を推進します。

関連する事業 【部署名】	事業名 学校給食運営事業 【教育総務課】
目 標	市内全15か所の学校給食施設の民間委託化完了に向けて、飯能第一小学校、原市場中学校の民間委託導入準備を推進する。 安心安全な学校給食を提供するために新型コロナウイルス感染症感染防止に向けた取組を推進する。
結果及び成果	学校関係者等の理解、協力のもと、令和3年4月から飯能第一小学校、原市場中学校の調理業務の民間委託をすることができた。これをもって、市内全ての小・中学校及び幼稚園の学校給食施設において、平成25年度から行ってきた調理業務の民間委託導入が完了した。調理業務を専門に行っている事業者においては、徹底した衛生管理と調理員への指導・教育体制が確立しており、各施設において、より効率的で、質の高い調理業務が行われている。各学校の教職員や児童生徒、保護者からの苦情などは一切なく、日々安全でおいしい給食が提供されている。また、学校においては、調理員の労務管理等の事務が軽減され、献立検討や食育指導などへ、より注力できるようになったとの声をいただいている。学校と事業者がスムーズに連携し、地場産食材メニューや季節ごとの行事食の提供などがこれまで以上に行われている。 新型コロナウイルス感染症感染防止の内容を含めた飯能市学校給食衛生マニュアルの改訂を行った。また、学校栄養士、調理員、調理業務委託業者への衛生管理意識の徹底を図るため、研修会を実施した。
達成率	100%超
評価	S
課題と方向性	引き続き、安心安全な学校給食を提供するため、衛生管理等の徹底を図るとともに、調理業務の民間委託導入後における、委託業務運用状況等の検証を行っていく。

④ 学校保健の充実

施策3 幼稚園・学校経営の充実

(1) 特色ある幼稚園・学校づくりの推進

① 学習林活用教育の推進

- ◇ 水と緑の学習とフィンランドの教育から学ぶ環境教育を推進します。

関連する事業 【部署名】	事業名 水と緑の学習とフィンランドの教育から学ぶ環境教育の推進 【学校教育課】
目 標	飯能の豊かな自然環境を生かした環境学習の見直しを図る。
結果及び成果	令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で、フィンランドへの視察は中止とした。飯能の豊かな自然環境を生かした環境学習については、遠足や総合的な学習の時間等で実際に森林や川に出向き、各学校で工夫した体験学習を展開することができた。
達成率	90%
評価	B
課題と方向性	第3期教育振興基本計画の施策1(3)に記載してあるように、飯能の地の利を生かした本物の自然に触れることのできる森林環境教育をより強く意識し、発達段階に応じた学習活動を展開していく必要がある。

② 小規模校・園の特色を生かした教育の推進

- ◇ 恵まれた環境と少人数の良さを生かした一人一人を伸ばす教育を進めます。

③ 地域の特色を生かした教育の推進

- ◇ 各地域の自然・歴史・施設・人材を生かした教育を進めます。
 ◇ 施設隣接型小中一貫教育校をはじめ、地域の特色を生かした魅力ある新たな学校づくりについて検討します。

④ 学校・家庭・地域が連携した教育の推進

- ◇ 学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）を設置し、地域と共にある学校づくりを進めます。

関連する事業 【部署名】	事業名 コミュニティ・スクールの設置による地域と共にある学校づくりの推進 【学校教育課】
目 標	市内すべての小・中学校に学校運営協議会制度を導入する（コミュニティ・スクールの設置）。
結果及び 成 果	1学期中の学校運営協議会開催は多くの学校で難しかったが、飯能市PTA連合会総会で、市内公立小・中学校の校長、PTA会長に対して、制度の説明を行ったうえで、2学期中には小・中合同の協議会を含む、全16の学校運営協議会を開催することができた。また、3学期の学校運営協議会においては、各協議会で学校関係者評価を実施することができた。
達 成 率	100%
評 価	A
課 題 と 方 向 性	市内の各学校運営協議会の協議内容や協議方法等を共有できるようにするとともに、他市町村の優れた実践事例なども各協議会に周知することにより、各学校運営協議会の活動を充実させ、地域とともにある学校づくりを推進していく。

⑤ 小・中学校9年間を一貫した教育の推進

- ◇ 奥武蔵創造学園の小中一貫教育をモデルケースとして、系統性・連続性を踏まえた教育課程の編成を進めます。【再掲】

⑥ 校種間連携の推進

基本方針Ⅱ 安心・安全で質の高い学習環境づくりに取り組みます。

施策1 学習環境の整備・充実

(1) 学校施設の整備の推進

① 安全に配慮した施設の管理と改修の推進

- ◇ 飯能第一小学校校舎の劣化状況調査の実施
- ◇ 加治小学校校舎の空調設備改修工事の実施

関連する事業 [部署名]	事業名 小学校施設管理事業・中学校施設管理事業 [教育総務課]
目 標	経年劣化に伴う危険箇所等の修繕を実施し、学習環境を適正に維持するための改修工事を実施する。 また、飯能第一小学校については改修工事等の方針・方法を検討する。
結果及び成果	加治小学校校舎空調設備改修工事を実施し、空調設備を更新することができた。 飯能第一小学校校舎劣化度等調査業務を実施し、改修等の方針・方法を検討するための基礎資料とすることができた。 精明小学校、富士見小学校、双柳小学校、美杉台小学校、奥武蔵小学校、南高麗中学校、美杉台中学校のバスケットゴール落下防止対策を実施した。照明設備について、整備計画を作成し予算要求を行い、LED化とあわせて落下防止対策工事が予算化された。 国の補助金を活用し、富士見小学校校舎空調設備改修工事に係る予算要求を行い、新年度の実施に向けた補正予算を組み込むことができた。
達成率	100%超
評価	S
課題と方向性	今後も学校施設の老朽化は進むが、限られた予算の中で優先順位をつけて更新していかなければならない。どのように更新していくか検討しなければならない中、飯能第一小学校校舎については令和3年度に改修か改築か方向性を検討したい。

② 学校規模の適正化の推進

(2) 学習環境の充実

① ICT環境の整備

- ◇ 多様な学習活動を展開するため、すべての児童生徒にタブレット端末等のICT環境整備を進めます。
- ◇ ICT環境の整備をはじめ、校務支援システムを活用した働き方改革を促進します。

関連する事業 【部署名】	事業名 校務支援システムの活用による働き方改革の推進 【学校教育課】
目 標	校務支援システムを有効活用し、業務の効率化と共有化を図る
結果及び成果	勤務時間を除いた1カ月の在校時間を45時間以下（年間360時間以下）とすることについては、70～80%の教職員が達成することができなかった。しかし、成績処理や出席統計、出退勤記録などの面で校務支援システムの有効活用が進んだこと、飯能市GIGAスクール構想が実現し、教職員にも学習用タブレットが整備されたことの2点により、働き方改革は確実に進展している。
達成率	100%
評価	A
課題と方向性	校務支援システムと学習用タブレットとの同期ができると、更なる業務効率の向上を図ることができるが、現在のところ、校務系ネットワークと学習系ネットワークは安全上の理由から別のもとなっている。グーグル等のクラウドを活用したものとするか、安全性を担保できる新たなネットワークを構築して同期できるようにするか、入念に検討し、見定めていく必要がある。

② 学校図書館・教材の整備充実

(3) 就学援助の推進

① 利用しやすい奨学金制度の推進

- ◇ 大学等への進学を支援するための貸付メニューである「入学一時金」を開始します。

関連する事業 【部署名】	事業名 奨学金貸付事業 【教育総務課】
目 標	大学等への進学を支援するための貸付メニューである「入学一時金」を開始する。
結果及び成果	大学等の入試に係るスケジュールを鑑み、令和2年度飯能市奨学生選考委員会で運用方針を定め、10月～3月にかけて3回入学一時金の奨学生を募集することができた。 市広報及びホームページの他、金融機関、大型スーパーマーケット、駿河台大学、所沢市、狭山市、入間市、日高市、飯能市の県立高等学校、市内私立高等学校にポスターの掲示を依頼した。 市内の高等学校、専門学校及び大学を訪問しPRと情報交換を行った。その結果、学校からの紹介により相談につながるケースなどもあった。
達成率	100%
評価	A
課題と方向性	入学一時金を創設、運用開始した初年度で、広範囲に周知を図ったところであるが、結果として応募者は無かった。要因としては、給付型奨学金等の制度充実による選択肢が増えたことや、新型コロナウイルス感染症の影響で進路選択の変更等をする学生が一定数いたことなどが推測される。また、募集のタイミングや周知方法についても検討の余地があると思われる。今後、国や社会の状況、受験生のニーズ等を注視し、より利用しやすい制度となるよう研究を継続していく。

② 高額な通学費への支援

施策2 教職員の資質の向上

(1) 教育センターを中心とした教職員研修の充実

- ① 若手教員育成のための研修の推進
- ② 職責やライフステージに応じた研修の推進
 - ◇ 学校教育アドバイザーによる指導・助言をはじめ、外部指導者を招聘しながら教職員の資質・能力の向上を図る研修を進めます。

関連する事業 [部署名]	事業名 教職員の資質・能力の向上を図る研修の推進 [教育センター]
目 標	質の高い学校教育を目指した教職員の資質・能力の向上を図る研修を実施する。
結果及び 成 果	学校研究講師謝金として予算確保したアクティブ研修については、学校間で多少の差はあったものの、各校の学校研究の実態に合わせて実施することができた。ライフステージに応じた集合研修については、新型コロナウイルス感染症の影響で中止或いは縮小せざるを得なかった。
達 成 率	100%
評 価	A
課 題 と 方 向 性	市としての集合研修については、教職員の負担とならないよう内容を精査したうえで、場合によっては廃止を検討するとともに、各研修における形式的な研究収録の作成は極力行わないようにする。また、研修参加者が参加してよかったと思えるものにするべく、内容と形式を工夫していく。

- ③ 教育課題解決のための研修の推進
- ④ 外部機関との連携による研修の推進
- ⑤ 飯能の特色を生かした教育のための研修の推進
 - ◇ 郷土飯能を愛する児童・生徒育成のため、飯能を理解・体験・活用する研修を計画的に進めます。
- ⑥ 不祥事防止に資する研修の充実
 - ◇ 教職員の不祥事防止に向けた研修を充実させ、各学校と連携しながら倫理観の高揚を図ります。

関連する事業 [部署名]	事業名 教職員の不祥事防止に向けた研修の充実 [教育センター]
目 標	教職員事故の絶無に向けた有意義な研修体制を確立する。
結果及び 成 果	新型コロナウイルス感染症の影響で、市内全教職員を対象とした教職員事故防止研修は中止し、県教育委員会の通知等に基づき、各校の教職員事故防止研修の充実を図ることとした。 令和元年度末の2件の職員事故については、校長研修会等で、児童生徒や保護者、地域住民、教職員、そして事故者本人の様子などを時系列で伝えることにより、教職員の危機意識の向上を図ることができた。
達 成 率	100%
評 価	A
課 題 と 方 向 性	飯能市GIGAスクールで整備された教師用の学習用タブレットとweb会議システムを活用し、6月までに市内全教職員を対象にした教職員事故防止研修を計画している。その際には、令和元年度末の2件の職員事故についても必ず全教職員に伝え、教職員の危機意識の向上を図るとともに、教職員も誰一人取り残さない学校づくりに向けた課題提起を行う。

基本方針Ⅲ 学校・家庭・地域が連携した教育に取り組みます。

施策1 家庭の教育力の向上

(1) 家庭教育支援体制の充実

① 家庭教育学級の充実

◇ 家庭教育の支援のため、関係機関や地域団体等と連携した事業を実施します。

関連する事業 [部署名]	事業名 家庭教育学級等の開催 [公民館]
目 標	家庭教育の支援のため、関係機関や地域団体等と連携し、家庭教育学級を開催する。
結果及び 成 果	「子どもとお母さんの人権について」というテーマで子育て中のお母さんの身近な悩みの解決方法等について実体験を織り交ぜて講演を開催した。参加者の皆さんから実体験を基に講演いただき、たいへん参考になったという感想をいただいた。 参加者数10名 「コロナに負けるな ココロもカラダもリフレッシュ&健康に足もみ講座」というテーマで、子育てに関する悩み等で感じているストレス解消を図るため、日々の生活に役立つ話や実体験についての講演を開催した。心も体も健康になれたという感想をいただいた。 参加者数7名
達 成 率	100%
評 価	A
課 題 と 方 向 性	小・中学校、健全育成の会、PTAなど連携して行う。 新型コロナウイルス感染症予防策を講じて実施できるようにする。

施策2 地域の教育力の育成

(1) 地域活動との連携

- ① 各種団体や事業者との連携による職業体験、ボランティア体験などの機会の充実
- ② 地域イベントへの子どもの積極的な参加
 - ◇ 駿河台大学、飯能商工会議所、飯能信用金庫と連携して、子どもの好奇心や生きる力、郷土を愛する心を育てる「子ども大学はんのう」を開催します。

(2) 地域活動への支援

- ① 社会教育機関による地域の教育活動支援

施策3 学校と家庭、地域社会との連携

(1) 学校・家庭・地域の連携

- ① 家庭や地域への学校行事等の情報提供
- ② 学校運営協議会制度や学校応援団との連携による教育活動の推進
- ③ 学習習慣形成の推進【再掲】
- ④ 学校・家庭・地域が連携した教育の推進【再掲】
 - ◇ 学校運営協議会制度（コミュニティ・スクール）を設置し、地域と共にある学校づくりを進めます。【再掲】
 - ◇ 児童虐待等の防止に向けて、関係各課をはじめ、学校・家庭・地域と連携して児童虐待の防止等に関する施策を進めます。
 - ◇ 奥武蔵小学校において、放課後子ども教室事業を実施します。地域の方々をはじめ、学校・児童クラブ・公民館などと連携し、子どもたちが地域の中で心豊かに育まれる環境づくりを推進します。

関連する事業 【部署名】	事業名 放課後子ども教室実施事業 【生涯学習課】
目 標	令和元年度、奥武蔵小学校で開設した放課後子ども教室を今年度も継続して実施する。
結果及び成果	今年度は、前年度のアンケート結果をもとに、ミュージカルをはじめ、遊びや体を動かすことに重点を置いたプログラムを作成し、全12回中7回実施した。また、運営委員会を立ち上げたことで、放課後子ども教室の課題改善の取組はもとより、スムーズな運営と児童に対してきめの細かい対応を実践することができた。その効果もあり、児童43名（全児童の55%）の参加登録を得た。 活動報告とPRを兼ねた「放課後子ども教室だより」を2回発行することもでき、多くの保護者から高評価をいただいた。また、参加児童の保護者の利便性を向上するため、電子申請による登録や出欠確認も開始することができた。しかし、緊急事態宣言が2度発出されたことから、児童の安全を最優先に考え、その間の放課後子ども教室を中止したため、6か月間活動を行うことが出来なかった。
達成率	100%
評価	A
課題と方向性	学び・運動・交流を基本として、放課後の安心、安全な居場所を提供するため、学校や関係者との連携を密にとり、児童が「参加したい」と感じる、魅力あるプログラムの計画・実施を継続することが今後も課題となる。 参加児童保護者の利便性を向上するため、飯能市GIGAスクールに合わせて、現在の飯能市電子申請システムを引き続き活用し、全ての保護者が使用できるようにマニュアルの向上を図っていく。 更なる地域住民の参画を得るため、児童や保護者を通じて地域住民へのPRを行い、事業の広報を強化していく。

基本方針Ⅳ 地域の魅力を感じられるいきいきとした生涯学習に取り組めます。

施策 1 多様な生涯学習の推進

(1) 生涯学習機会の充実

① 駿河台大学との連携

◇ 市民の豊富な好奇心に応えるため、駿河台大学と連携し、大学公開講座を開催します。

② 多様な学習機会の充実

③ 生涯学習情報の収集及び発信

④ 人権に関する学習機会の充実

◇ 様々な人権問題についての理解を深めるため、地域で人権意識の高揚と啓発を図るための研修会を開催します。

(2) 青少年の健全育成

① 関係団体との連携

◇ 青少年育成飯能市民会議等と連携して、「少年の主張大会」や「家庭の日ポスターコンクール」、「非行防止キャンペーン」などの非行防止事業を実施します。

② 世代間交流の推進

③ ボランティアの育成と活動支援

施策2 文化活動・伝統文化の振興と文化財の保存・活用

(1) 市民文化活動の推進

① 市民文化活動の奨励

◇ 文化の振興のため市民会館と連携し、生涯学習フェスティバルを開催します。

関連する事業 【部署名】	事業名 生涯学習フェスティバル開催 【生涯学習課】
目 標	文化の振興のため市民会館と連携し、「生涯学習フェスティバル」を開催する。
結果及び成果	生涯学習フェスティバルの開催に向けて、市民会館とも計画や準備を進めていたが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、参加団体の活動そのものが困難な状況となり、ステージ発表や飲食販売等を含む、今回の開催計画を変更してもなお、開催すること自体が難しいと判断し、やむなく中止とした。
達成率	—
評価	—
課題と方向性	新型コロナウイルス感染症の収束が見えないため、生涯学習フェスティバルで行っているステージ発表やワークショップ、飲食販売等について、これまでと同様の内容や方法では、今後も開催が難しいと推測されることから、どのような形であれば開催することが可能になるのか、詳細な検討が必要である。また、各団体と連携を密にして、様々な意見をもとに今後の生涯学習フェスティバルの在り方について検討していく。

② 市民主体による活動の支援

◇ 郷土芸能保存団体を中心に、地域で伝承されている郷土芸能の技術向上や後継者育成を図り、その活性化の場として郷土芸能フェスティバルを開催します。

(2) 歴史・文化遺産の継承と活用

① 指定文化財の保存と活用

関連する事業 【部署名】	事業名 市民に向けた文化財情報の普及活用事業 【生涯学習課】
目 標	ホームページは、市民の皆様が文化財を知る最初のきっかけとなるように内容を充実し、見やすく、わかりやすいホームページに変更する。 掲載記事は、最新の情報になるように更新していく。 埋蔵文化財についても、発掘調査現場での説明看板設置や、市民に遺跡情報を知ってもらう取組を行う。
結果及び成果	「落合家人形芝居及び説教節関連資料」が市の指定文化財となった後、すぐにホームページへ解説や写真を掲載し、報道発表も行うことで周知に努めた。また、お問い合わせの多い獅子舞等の伝統芸能については、新型コロナウイルス感染症の影響で祭礼事体が中止となったが、その情報についても逐次ホームページに掲載した。 発掘調査の成果については、図書館との共催で「知っていますか発掘調査」と題するパネル展示や、博物館を会場にした「最新出土品展」を開催した。また、大字上畑における発掘調査においては、現地に設置した解説看板の内容をまとめ直し、南高麗小中学校の児童生徒に貸与したタブレットで見られるよう、現地の案内図と調査の解説文を配信し、身近な遺跡を紹介することができた。
達成率	95%
評価	B
課題と方向性	ホームページの充実を目的としていたが、ホームページという単一の媒体にこだわることなく、関係部署等と連携し、今どのような情報が求められているかを的確に把握し、時代に合った情報と手段を用いて発信することで、文化財情報の普及に努める。 市内小中学校の児童生徒に貸与したタブレットに文化財情報を配信できるよう、飯能市GIGAスクールの一環として、学校現場で活用できる情報をどのように提供していくのか検証・検討を重ね、具体的に実施準備を進めていく。

② 埋蔵文化財の調査と活用

- ◇ 開発行為に伴う埋蔵文化財の調査を適切に実施し、調査成果を展示や講座、中学生の社会体験チャレンジ事業等に積極的に活用し成果の公開に努めます。

関連する事業 【部署名】	事業名 埋蔵文化財発掘調査事業 【生涯学習課】
目 標	区画整理事業など市の開発事業及び民間の開発事業に伴う発掘調査が増加する中、的確かつ効率的に調査を実施する。併せて発掘調査後に行う室内調査についても、計画的な実施に向けて各種調整を行う。
結果及び成果	市の開発関係部局と連絡を密にとり、開発に与える発掘調査の影響を最小限に抑えて調査を実施したことにより、開発関係部局の工事の進捗に影響を与えることなく実施できた。また、区画整理事業に伴う発掘調査が想定よりも少なかったため、室内整理作業を優先することで計画的に事業を遂行することができた。 「農のある暮らし」に係った発掘調査が増加傾向にあり、1件当たりの調査面積も広いため、発掘調査が受ける影響も大きくなるが、移住者に与える影響を最小限に対応した結果、移住者が希望する時期に着工することができた。
達成率	100%
評価	A
課題と方向性	発掘調査の事業量は年度により増減が大きく、調査を実施する当課で事業量を調整することができないため、調査依頼にはできる限り影響が出ないように発掘調査を組み立てている。また、市が実施する開発事業では、その計画段階で、遺跡調査が必要なエリアであるかどうかの検討がなされていないため、開発事業の計画に影響を及ぼすことも危惧される。このことは、当課の事業計画にも影響があることから、大きな開発事業等については双方で事前に検討が必要である。 遺跡の発掘調査は重要な業務であるが、その後の室内調査についても進捗速度を高める必要があり、出土した土器や石器等の活用についても、積極的に取り組む必要がある。

③ 歴史・文化遺産の調査と活用

- ◇ 文化財保護法の改正を受け、策定が望まれる「文化財保存活用地域計画」の策定に向け、地域に残された歴史・文化遺産について調査を実施し、策定の準備を進めます。

関連する事業 【部署名】	事業名 文化財保存活用地域計画の策定事業 【生涯学習課】
目 標	平成31年4月に文化財保護法が改正され、都道府県には「文化財保存活用大綱」を、市町村には「文化財保存活用地域計画」の策定が望まれている。令和2年度を準備の年とし、令和3年度から3か年計画で国庫補助を受けて策定する。
結果及び成果	令和3年度からの計画策定に向け、その事前準備として、令和2年度に予定していた既存調査の抽出方法や対象範囲の把握、名栗地区の調査方針の決定、策定までの各年度のスケジュール作成等の準備作業を予定通り実施することができた。 国庫補助金の交付を受けて地域計画の策定を行うため、県や国と深く協議をする中で、遺漏なく作業を進めることができた。また、協議会の設置については、市の関係部局と協議し、設置要領で協議会を設置し、構成委員の人選も行った。
達成率	100%
評価	A
課題と方向性	文化財保存活用地域計画の策定には、中・長期的に取り組む具体的なアクションプランとして、広く市民の方からのご意見を伺い、地域の人にとって何が大切で何を残していきたいのか、その意見をしっかりと把握することも大切な作業となる。 今までにない計画の策定であり、3年間を費やして、今後10年の市の文化財の保存・活用の方向性をしっかりと定め、実践していくための計画策定作業にしっかりと取り組む。

施策3 学習活動支援と地域の魅力発信

(1) 図書館サービスの充実

① 資料・情報提供の充実

- ◇ 利用者の読書や調査研究活動を支援するため、新たな本との出会いにつながる資料展示、他課・関係機関と連携した展示や事業等を幅広く展開します。

関連する事業 【部署名】	事業名 資料・情報提供の充実 【図書館】
目 標	利用者の読書や調査研究活動を支援するため、新たな本との出会いにつながる資料展示、他課・関係機関と連携した展示や事業等を幅広く展開します。
結果及び 成 果	新型コロナウイルス感染症の感染者が落ち着いてきた8月から資料展示を開始した。庁内組織や関係機関と連携した展示を7回、図書館単独での展示を5回、あわせて年間12回の展示を実施した。どの展示も好評で、翌週には展示した本がほとんど貸し出されている状況であったため、関係機関の情報提供や新たな本と出会える機会の提供が果たせたと思われる。
達 成 率	100%
評 価	A
課 題 と 方 向 性	当館での関係機関と連携した展示は定着してきており、引き続き継続していきたい。今後は、より多くの人に展示を知っていただけるような情報発信に工夫する必要がある。

- ◇ 令和3年度から7年度の図書館の運営方針を定めた「第3次飯能市図書館サービス・運営計画」を策定します。

関連する事業 【部署名】	事業名 第3次飯能市図書館サービス・運営計画の策定 【図書館】
目 標	令和3年度から7年度の図書館の運営方針を定めた「第3次飯能市図書館サービス・運営計画」を策定します。
結果及び 成 果	市民の多様化するニーズへの対応や、非来館型サービスの充実などの課題を踏まえ、「市民に愛され市民と共に創り続ける図書館」を基本理念とした素案を作成した。素案に対し11月に図書館協議会委員、12月には教育委員にご審議いただき、青少年サービスのあり方や評価指標に対して意見が出された。これを修正したものを1月の教育委員会定例会に議案として提出し、了承いただいた。3月には図書館協議会に報告し、ホームページで公表した。
達 成 率	100%
評 価	A
課 題 と 方 向 性	計画で立案した1.安心・安全で充実した読書環境の提供、2.課題解決支援サービスの充実、3.市民との協働による図書館運営の推進、4.生涯にわたる読書活動の推進の4つの基本方針に基づいた事業を展開し、令和7年度まで新たな課題に対応した市民に愛される図書館を実現する。

② 課題解決支援サービスの充実

- ◇ 課題解決に役立つ各種資料・情報源を提供し、職員が利用者の調査・研究活動を支援します。

③ 市民との協働による図書館運営の推進

- ◇ 図書館ボランティアが関わる事業を増やし、市民との協働による図書館運営を推進します。

関連する事業 [部署名]	事業名 市民との協働による図書館運営の推進 [図書館]
目 標	図書館ボランティアが関わる事業を増やし、市民との協働による図書館運営を推進します。
結果及び 成 果	ボランティアの活動集会は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため6月まで中止していたが、7月からは感染防止対策を徹底して毎月開催し、意見交換ができた。 行事に関しては、講座やおはなし会は感染防止対策の目途が立たず実施できなかったが、9月には映画会、11月には本のリサイクルフェアを感染防止対策を徹底することで実施できた。
達 成 率	90%
評 価	B
課 題 と 方 向 性	引き続き、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から、これまでと同じような行事は、実施できない可能性が高いが、感染防止対策を十分に行うなど、実施できる方策を検討する必要がある。同時にボランティアのモチベーションが低下しないように配慮しなくてはならない。

(2) 読書活動の推進

① 生涯にわたる読書活動の推進

- ◇ 子どもの読書活動を推進するための「第3次飯能市子ども読書活動推進計画」(令和3～7年度)を策定します。

関連する事業 [部署名]	事業名 第3次飯能市子ども読書活動推進計画の策定 [図書館]
目 標	子どもの読書活動を推進するための「第3次飯能市子ども読書活動推進計画」(令和3～7年度)を策定します。
結果及び 成 果	子どもの年齢が上がるにつれ進行する読書離れや、読書が困難な子どもへの配慮などの課題を踏まえ、計画の素案を作成した。11月に教育委員と図書館協議会委員に審議していただき、関係各課より意見聴取を実施した。飯能市GIGAスクールへの対応等、新たなツールを利用した読書推進の在り方についてなどの意見を反映させ、調整会議、庁議での了承後、パブリックコメントを実施し、1月の教育委員会定例会に諮り、議決していただいた。その後2月に全員協議会で報告、3月に市長決裁を経て、ホームページで公表した。
達 成 率	100%
評 価	A
課 題 と 方 向 性	計画で立案した1.年齢・発達の段階に応じた読書活動の推進、2.関係機関の連携・協働による推進体制の整備の基本方針に基づいた事業を展開し、市全体で子どもの読書活動を推進していく。関係各課と連携を図り、図書館はその中核として事業を推進する。

② 学校等教育機関と連携した読書活動の推進

- ◇ 子どもが本に親しみ読書習慣が身につくように、学校等と連携し、子どもの読書活動を推進するための取組を実施します。

関連する事業 [部署名]	事業名 学校等教育機関と連携した読書活動の推進 [図書館]
目 標	子どもが本に親しみ読書習慣が身につくように、学校等と連携し、子どもの読書活動を推進するための取組を実施します。
結果及び 成 果	読み聞かせや本の紹介を小学校（２校）へ出向いて行った。小学校（６校）からの見学を受け入れ、読み聞かせや図書館の使い方などの紹介を行った。小学校への団体貸出を３９件行った。 奥武蔵小学校では６月に「図書館を使いこなそう」という授業を図書館職員が行ったが、それ以降は新型コロナウイルス感染症感染防止の観点から事業は実施できていない。また、飯能第一小学校とも連携事業は実現に至らなかった。
達 成 率	９０％
評 価	B
課 題 と 方 向 性	新型コロナウイルス感染症の関係から、学校での事業の実施はなかなか難しい。今後は対面型だけではなく、リモートによるものやタブレット配信によるものなど、多彩な在り方を検討する必要がある。

（３）公民館活動の充実

① 地域課題を捉えた事業の充実

- ◇ 地域課題を捉えた、健康づくりや防災・防犯に関する事業、交流人口の増加につながる事業や地元の公共交通機関を利用した事業を実施します。

関連する事業 [部署名]	事業名 地域課題を捉えた事業の充実 [公民館]
目 標	地域課題を捉え、健康づくりや防災防犯に関する事業、交流人口増につながる事業や地元の公共交通機関を利用した事業を実施する。
結果及び 成 果	ウォーキング事業は、体力向上と運動の習慣化が図られた。また、防災・防犯講座を実施し、地域での防災・防犯意識が向上した。またコロナ禍での避難についてなどに役立った 交流事業や地元公共交通機関を利用した事業は、計画をしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により実施することができなかった。
達 成 率	１００％
評 価	A
課 題 と 方 向 性	新型コロナウイルス感染症予防策を講じての事業実施を行う。

- ◇ 地域課題の解決や地域連携を推進するため、地域団体や関係機関と連携した事業を実施します。

関連する事業 [部署名]	事業名 地域団体や関係機関と連携した事業の推進 [公民館]
目 標	地域課題の解決や地域連携を推進するため、地域団体や関係機関と連携した事業を実施する。
結果及び成果	鳥獣被害対策として「アライグマ捕獲従事者研修会」を実施し、鳥獣被害に関する地域の主体的な取組を支援した。 高齢者学級、地域福祉講座などを計画したが新型コロナウイルス感染症の影響で開催できなかった。
達成率	100%
評 価	A
課 題 と 方 向 性	鳥獣被害対策は、山間地域以外でも地域課題であるので、鳥獣被害対策室と連携して推進していく。 地域課題を解決するため、まちづくり推進協議会や地域福祉組織などと連携して開催する。

② 情報発信の充実

- ◇ 生涯学習推進のため、講座開催等の情報提供の充実を図ります。
地域団体の活動や地域の魅力などを積極的に発信し、情報の「見える化」を推進します。

関連する事業 [部署名]	事業名 情報発信の充実 [公民館]
目 標	生涯学習推進のため、講座開催等の情報提供の充実を図る。 また、地域団体の活動や地域の魅力などを積極的に発信する。
結果及び成果	毎月1回地区行政センター（公民館）だよりや飯能市ホームページ、フェイスブックを活用し、事業や地域の情報を積極的に発信した。 全館内に事業報告を展示し「見える化」を図った。利用グループの情報やグループの作品展示コーナーを設けた。
達成率	100%
評 価	A
課 題 と 方 向 性	今後も継続して地域情報を発信し、地域の魅力を紹介し、活性化を図っていきたい。 新たな情報発信の手段を検討し、実施する。

③ 学習活動の支援

- ◇ 学習活動に必要な情報収集を支援するとともに、地域団体の活動や学習グループ間の連携による活動を支援します。また、様々な文化活動、体験活動を通じて子どもの学習支援を行います。

関連する事業 【部署名】	事業名 学習活動支援 [公民館]
目 標	学習活動に必要な情報収集の支援をするとともに、地域団体の活動や学習グループ間の連携による活動を支援する。また、様々な文化活動、体験活動を通じて子どもの学習支援を行う。新型コロナウイルス感染症に伴う子どもたちの学習などの遅れに対応する支援を行う。
結果及び 成 果	文化祭は、合唱、舞踊、楽器演奏など舞台で演技するものは新型コロナウイルス感染症の影響で実施できなかった。絵画、書道、俳句、手芸などの作品の展示のみを行った。 子どもの学習支援として、新型コロナウイルス感染症による学習の遅れに対応するため、小学生を対象に「みんなの自習室」を計画当初3館の実施予定だったが、2館追加し、5館で実施した。 小中学生を対象に木工教室や書初め教室を実施した。
達 成 率	100%
評 価	A
課 題 と 方 向 性	新型コロナウイルス感染症等の予防策を講じ、安全安心な学習活動を支援する。 子どもたちが体験を通じて学ぶ教室や講座を開催する。

(4) 博物館活動の充実

① 地域の情報センター機能の充実

- ◇ 古文書、民具、自然写真などの収蔵資料の整理を推進し、市民に提供できる情報の充実を図ります。

関連する事業 【部署名】	事業名 収蔵資料の整理 【博物館】
目 標	古文書、民具、自然写真などの収蔵資料の整理を推進し、市民に提供できる情報の充実を図ります。
結果及び 成 果	古文書は、当年度に寄贈を受けた平沼優家文書など13の史料群195点を、また写真資料は平成30年度にまちづくり推進課より寄贈された写真など333点のカードを作成し台帳登録した。また民具は資料の確認をしながらデジタルカメラでの撮影を行い、239点の再整理を行った。いずれもほぼ目標を達成することができた。 自然写真は、84点を収蔵資料管理システムにアップしたが、目標には達しなかった。 なお、収蔵資料の整理については、第2期教育振興基本計画の5年間で着実に進めたことで、収蔵資料の価値をより高めることができた。
達 成 率	95%
評 価	B
課 題 と 方 向 性	今後とも継続して行うことによって、収蔵資料の価値を高め、歴史展示室の展示替えや特別展、教育活動などにその成果を活かし、人々の知的好奇心に応えていく必要がある。

- ◇ 収蔵資料へのアクセシビリティを向上させ、その価値を高めるため、デジタルアーカイブの構築に取り組みます。

関連する事業 【部署名】	事業名 デジタルアーカイブの構築 【博物館】
目 標	収蔵資料へのアクセシビリティを向上させ、その価値を高めるため、デジタルアーカイブの構築に取り組みます。
結果及び 成 果	当館で所蔵している油彩画などの絵画のデータのうち440点を収蔵資料管理システムへアップし、369点の公開を開始した。このことによって当館の収蔵絵画をホームページから検索することが可能となった。文化遺産オンラインへの登録はできなかったものの、デジタルアーカイブは構築することができた。
達 成 率	90%
評 価	B
課 題 と 方 向 性	今後とも収蔵管理システムへのデータ入力を着実に進め、市民の収蔵資料へのアクセシビリティを高めるとともに、当館が所蔵している資料の魅力を積極的に発信していく必要がある。

② 市民、小中学校、大学、他の教育機関等と連携した博物館活動の推進

- ◇ 新学習指導要領の内容に対応した小学生3年生の見学プログラムを市民学芸員とともに開発し、質の高い学習活動を支援します。

関連する事業 【部署名】	事業名 小学3年生社会科見学対応プログラムの充実 【博物館】
目 標	新学習指導要領の内容に対応した小学3年生の見学プログラムを市民学芸員とともに開発し、質の高い学習活動を支援します。
結果及び 成 果	小学3年生見学対応用のプログラム「町のうつりかわり」については、市民学芸員（博学連携）の中に検討部会を設置し、教育センター指導主事の支援を得てタブレットを使ったプログラムに作り替えた。それによって内容を更に充実させることができた。結果として新型コロナウイルス感染症感染拡大のため来館したのは2校にとどまったが、9校で出張授業を行い、あわせて11校で実施した。
達 成 率	100%
評 価	A
課 題 と 方 向 性	小学3年の総合学習や4年の社会科における出張授業でも、タブレットを活用したプログラムを実施できるよう、教育センターと連携しながら更に検討していく必要がある。

③ 施設の充実と職員の専門性の向上

(5) 地域の魅力発信

① 地域情報の積極的な発信と地域の活性化支援

- ◇ 東吾野地区に遺る説経節の調査、研究によって地域の新たな魅力を掘り起こし、それを特別展の開催によって発信し、個性豊かで活力のある地域づくり・人づくりに取り組んでいきます。

関連する事業 【部署名】	事業名 特別展「山里に咲いた芸」の充実 【博物館】
目 標	東吾野地区に遺る説経節の調査研究によって地域の新たな魅力を掘り起こし、それを特別展の開催によって発信し、個性豊かで活力のある地域づくり・人づくりに取り組んでいきます。
結果及び 成 果	特別展の1日平均入館者数が131.3人であった。 アンケートで「満足」と回答した入館者の割合は90.5%であった。 八王子車人形の公演は、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため定員は338席で実施し、92.6%にあたる313人の来場があった。コロナ禍における入館者数としては驚異的であり、感染拡大防止策を取りながら開催したことは、展示会をとりやめる館が多い中で社会教育機関としての存在意義を示すことができ、期待を上回る成果といえる。
達 成 率	100%超
評 価	S
課 題 と 方 向 性	今後も、市民のニーズを意識しつつ、本市の新たな魅力を掘り起こすようなテーマを設定していく必要がある。

- ◇ 平和都市宣言制定を記念し、先人たちの知恵や教訓を現代、未来に活かしていくため「ヒロシマ・ナガサキ原爆資料展」を開催します。

② 「北欧の雰囲気とムーミンの世界を体験できる施設 Metsä（メツァ）」を活用した新たな魅力の創出

③ 飯能河原・天覧山周辺の魅力の発信

- ◇ 飯能河原・天覧山周辺の自然の魅力を多くの人に知ってもらうため、関係団体と連携しながら、博物館を拠点とした観察会等を実施します。

関連する事業 [部署名]	事業名 飯能河原・天覧山周辺の自然のビジターセンター的機能の充実 [博物館]
目 標	飯能河原・天覧山周辺の自然の魅力を多くの人に知ってもらうため、関係団体と連携しながら、博物館を拠点とした観察会等を実施します。
結果及び 成 果	自然観察会は、①「さとやまの小さな生き物観察会」（８月）、②「冬の森へ出かけよう」（１２月）、③「初めての“おさんぽバードウォッチング”」（３月）の３回実施した。 参加者数は、３月の観察会のみが定員に達しなかった。またアンケートによる参加者の満足度は、いずれも８０％を超え目標を達成することができた。
達 成 率	９０％
評 価	B
課 題 と 方 向 性	子どもを対象とした観察会では、自然との付き合い方を学ぶという点で、また一般対象の事業においては、参加者の誘導の仕方などに問題点があったが、今後も改善を加えながら季節に合わせて着実に実施し、市民や市外から来訪する人に周辺の自然の魅力をアピールしていきたい。

基本方針Ⅴ スポーツを通じて、元気で活力のあるまちづくりの推進に取り組みます。

施策1 健康で元気に暮らすための事業の充実

(1) 地域と連携した活動の推進

① 健康づくり事業の展開

- ◇ 子どもの運動習慣を推進するため、NPO法人飯能市スポーツ協会、駿河台大学と連携し、コーディネーショントレーニング体験会・実践講座・保育所巡回教室など普及に努めます。

関連する事業 [部署名]	事業名 コーディネーショントレーニングの推進 [スポーツ課]
目 標	コーディネーショントレーニング事業の推進を支援し、コーディネーショントレーニングの普及を図る。
結果及び 成 果	飯能市コーディネーショントレーニング推進協議会を年7回開催し、保育所巡回教室等の今後の方針について協議を行った。 体験会並びに実践講座（スポーツ協会主催）を年各2回 （7月4日：体験会8人・実践講座中止 / 11月21日：体験会5人・実践講座17人）開催。 JACOT認定ライセンスセミナーは令和2年7月18日に開催し14人が参加、令和3年3月13日にも実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止とした。 保育所巡回教室を9保育所で各1回開催し、延べ450人が参加した。前期は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため中止とした。（昨年度は各2回・891人参加） 各保育所からは、子どもたちの集中力の変化がみられる。また、ペアになって運動するため、コミュニケーションが取れ、協調性が生まれたという報告を受けている。 （奥武蔵小学校の取り組みでは、朝マラソンの時にコーディネーショントレーニングを4回実施したが、その日は、保健室の利用率が下がったなどの報告を受けている。）
達 成 率	100%
評 価	A
課 題 と 方 向 性	保育所、小・中学校の先生方への体験会やJACOT認定ライセンス取得等の推進を行い、児童・生徒の運動指導の実践に繋げたい。 「コーディネーション道場」や「体験会・実践講座」を開催するとともに、行政センターでの講座等において高齢者の方にも介護予防として周知していく。また、奥武蔵小中学校でのコーディネーショントレーニング導入など幅広く推進していく。（令和3年度、奥武蔵小学校では、体育（運動表現）の授業で6時間行う予定で効果測定等も行う）

② ウォーキングのまち飯能の推進

- ◇ 市民の健康維持、健康意識の高揚を図るため、市内9地区のウォーキング大会をNPO法人飯能市スポーツ協会に委託し、「市民健康ウォーキング事業」として開催します。

(2) スポーツイベントの充実

① 飯能新緑ツーデーマーチ

- ◇ 関係団体やボランティアと連携し、参加者が安心安全に参加できるよう運営します。また、駿河台大学内やメッツァビレッジを通過するコースを取入れ、飯能市の魅力を発信していきます。

第18回飯能新緑ツーデーマーチ
大会期日：令和2年5月23日（土）・24日（日）

② 奥むさし駅伝競走大会

◇ 関係団体やボランティアと連携し、市民との協働により運営します。

第19回奥むさし駅伝競走大会

大会期日：令和3年1月31日（日）

第63回奥むさし中学校駅伝競走大会

大会期日：令和2年12月5日（土）

関連する事業 【部署名】	事業名 既存イベントの充実 第18回飯能新緑ツーデーマーチ（中止） 第19回奥むさし駅伝競走大会（中止） 第63回奥むさし中学校駅伝競走大会（中止） 【スポーツ課】
目 標	第18回飯能新緑ツーデーマーチが中止となったことに伴い、第19回大会の開催については、関係課・企業等との連携により新しい企画の準備を進める。 （名栗コース・吾野コースの変更など） 市民との協働による“おもてなし・気遣いの心”で参加者をお迎えする。 各大会の開催については、参加者が安心して安全に参加できるよう対策を行う。
結果及び成果	《第18回飯能新緑ツーデーマーチ》 令和2年5月23日（土）・24日（日） 大会開催に向けポスター・チラシの準備やコースの下見等を行っていたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の収束が見えない状況にあり、感染防止対策に懸念があるため中止（令和2年3月12日）と決定した。 《第19回奥むさし駅伝競走大会》 令和3年1月31日（日） 《第63回奥むさし中学校駅伝競走大会》 令和2年12月5日（土） 開催に向けて準備を進めてきたが、新型コロナウイルス感染症感染拡大の収束が見えない状況にあり、感染防止対策に懸念があるため中止（令和2年10月2日）と決定した。
達成率	—
評価	—
課題と方向性	「新しい生活様式」飯能スタイル」に沿って、イベントの在り方等の検証を行いながら、スポーツを通じて、元気で活力あるまちづくりを促進していく。 飯能新緑ツーデーマーチは観光資源である「宮沢地区のメッツァビレッジ」、「天覧山周辺の食のテーマパーク OH!!!」、「名栗地区のグランピング施設ノーラ名栗」などを活かした、自然豊かな飯能の魅力を発信し、飯能市を周知していく。

③ 新たなスポーツイベントの検討

◇ 飯能市の「豊かな自然・地形」を生かしたトレイルランニング・ノルディックウォーキングなど新たなスポーツイベントを支援します。

(3) スポーツ環境の整備・充実

① スポーツ・レクリエーション団体等の活動支援

- ◇ 市民のスポーツ・レクリエーション活動を普及振興するため、関係団体並びに関係者等との連携・協力し、各種大会や講習会等の開催を支援します。
- ◇ 東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて、「採火式」など、市民の一体感が醸成される仕組みづくりに関係団体等と連携し実施します。

関連する事業 [部署名]	事業名 各種関係団体との支援及び連携 [スポーツ課]
目 標	NPO法人飯能市スポーツ協会やスポーツ少年団などの各種関係団体を支援するとともに、飯能市スポーツ推進委員においては、地域との連携を図り、飯能市のスポーツ・レクリエーションを推進する。 延期となった東京2020オリンピック・パラリンピックに向けて「採火式」など、関係団体と連携し準備を行う。
結果及び 成 果	地域スポーツ推進のため、NPO法人飯能市スポーツ協会の理事会に出席し、各部会の報告、意見交換、市の主催事業の中止など情報共有を行い、各地区の状況を把握し、事業の促進を図った。(新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策のため2回の開催にとどまった) 飯能市スポーツ推進委員協議会では、学校開放事業での感染対策について連携し、各団体に学校体育館等の使用方法について指導を依頼し、その報告を受けている。 スポーツ少年団の事業については、新型コロナウイルス感染症感染拡大の収束が見えない状況にあり、感染防止対策に懸念があることから「第46回飯能市スポーツ少年団大会(運動会)」、「第37回奥むさし駅伝スポーツ少年団交流大会」の開催について協議し、中止と決定した。 東京2020オリンピック・パラリンピックが1年延期されたため「採火式」等のイベントも延期となった。
達 成 率	100%
評 価	A(スポーツ少年団運動会・駅伝大会、採火式等は評価不可)
課 題 と 方 向 性	スポーツ推進事業においては、関係団体並びに関係者等との連携・協力が必要となることから、日頃から信頼関係を構築していく必要がある。 スポーツ少年団の加入促進については、子どもたちが考えるスポーツ少年団のスポーツ競技は何かなど、アンケート調査を実施し、加入率アップに繋げる。

② 市民ニーズに即応したスポーツ教室等の開催

③ ホッケーのまち飯能の推進

- ◇ 市内小・中学校における授業やクラブ活動でのホッケー教室による普及事業及びホッケーに興味を持ち、夢を与えられるような「HOCKEY通信」を発行し、PR活動を推進します。また、飯能ホッケー連盟に委託し、スポーツ少年団、中学生の強化及びホッケー大会等を支援します。

関連する事業 [部署名]	事業名 ホッケーのまちづくりの推進 [スポーツ課]
目 標	「ホッケーのまちづくり」の理念及び基本目標を達成するため、教育委員会が担う各事業を推進する。
結果及び成果	巡回ホッケー教室の開催 令和2年度は、小学校12校で67回実施し、2,056名が受講し、中学校では8校で138回実施し、5,165名がホッケー競技を経験した。一部の児童・生徒は飯能ジュニアチームなどへ入部するなど効果があった。 市内小・中学生が阿須ホッケー場を利用する場合は利用料を免除している（約350件） ホッケー競技を多くの方々に知ってもらうため「HOCKEY通信」の発行や図書館・市民活動センターなどにホッケー競技のブースを設け、ホッケー選手・競技内容の紹介などPR活動を行い、多くの方にホッケー競技を周知した。 （児童・生徒に夢や希望を持ってもらうため、東京2020オリンピックのホッケー代表候補選手特集なども市内小・中学生に配布した。）
達成率	100%
評価	A
課題と方向性	「ホッケーのまち飯能」を推進するため、関係団体や小・中学校など情報共有を行い、ホッケー人口を増やすための検証をしていく必要がある。 「HOCKEY通信」については、市内のチームや飯能出身とする選手などの活躍を掲載し、子どもたちに「自分も」となるような夢をもってもらう内容の発行を行う。

- ◇ 全日本中学生ホッケー選手権大会の誘致に向けた準備を行います。

施策2 スポーツ施設の安全な運営とサービスの向上

（1）スポーツ施設の安全点検とサービスの向上

- ① 指定管理者との連携
- ② 施設の計画的な修繕
 - ◇ 利用者の利便性を図るとともに、飯能市公共施設等総合管理計画に基づき、安心・安全な施設の管理運営をするため指定管理者や関係部署と協議し、修繕等を行います。
 - ◇ 市民プールについては、令和2年度をもって、廃止することとし、関係機関、団体等と協議を進めます。

③ 利用者のサービス向上

- ◇ 指定管理者と連携し、利用者ニーズを捉えた効果的な管理運営を進め、新型コロナウイルス感染症等の予防策を講じて、施設の利便性の向上を図ります。

関連する事業 [部署名]	事業名 都市公園運動施設の指定管理並びに施設の管理 [スポーツ課]
目 標	都市公園運動施設のサービス向上を図るため、指定管理者による管理運営を進める。 施設の計画的な管理の実施を進める。 市民プールの廃止
結果及び 成 果	指定管理者と施設修繕や新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策について、協議・検討を行い、施設の休館や運営方法について迅速に対応した。 岩沢多目的グラウンドは、台風19号の影響により使用休止としていたが、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金により、機械借上料、原材料費を活用し、指定管理者が整備を行った。また、防球ネット工事、仮設トイレの設置、健康器具設置工事を行い、令和3年4月1日より利用を再開した。 阿須テニスコート・駐車場など台風19号の影響による復旧対策については、道路公園課と協議・連携し、令和2年9月に利用を再開した。 屋内運動施設については、市民が安全に安心して利用できるように、換気・消毒を徹底した安全な施設運営を行っている。更に「市民体育館」のトレーニング室・男女更衣室に「空間除菌消臭機器」を設置、メインアリーナ・サブアリーナには、「大型送風機」を設置し、換気作業を徹底した。 指定管理者に対し、施設休業に伴う継続支援負担金や施設運営の支援のため感染予防対策負担金を支援した。 飯能市民プールについては、令和3年4月1日条例を廃止した。
達 成 率	100%
評 価	A
課 題 と 方 向 性	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策、施設の老朽化などに対する施設改修については指定管理者と引き続き協議・検討していく必要がある。 市民プールについては、廃止後の施設について協議していく。また、市民水泳大会については開催の継続を支援していく。

4 重点施策に基づき取り組んだ事業の評価

令和2年度飯能市教育行政の重点施策の評価結果は、次のとおりです。

「期待どおり（A評価）」と「概ね目標を達成（B評価）」の割合は、全35事業中31事業あり、全体の89パーセントを占めました。

また、「期待を上回る（S評価）」については4事業ありました。

全体的に、良好な事務執行ができたと評価できますが、引き続き創意工夫し、努力していく所存です。

＜集計表＞

所管課（館）	評価結果の内訳（事業数）					事業数合計
	S	A	B	C	D	
教育総務課	2	1	0	0	0	3
学校教育課 教育センター	1	6	2	0	0	9
生涯学習課	0	3	1	0	0	4
公 民 館	0	5	0	0	0	5
スポーツ課	0	4	0	0	0	4
図 書 館	0	3	2	0	0	5
博 物 館	1	1	3	0	0	5
事業数合計	4	23	8	0	0	35
評価の割合 （％）	11.4	65.7	22.9	0.0	0.0	100.0

※新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため実施できなかった事業については評価の対象から外しました。（生涯学習課1事業、スポーツ課1事業）

（参考）令和元年度飯能市教育行政の重点施策の評価結果

	S	A	B	C	D	事業数合計
事業数	3	23	11	2	0	39
評価の割合 （％）	7.7	59.0	28.2	5.1	0.0	100.0

5 教育委員会の活動状況と評価

令和2年度の教育委員会の主な活動状況は、以下のとおりです。

【主な活動状況】

項 目		回数等	活動内容等
教育委員会の活動	教育委員会会議の開催回数	12回	定例会の開催 定例会12回
	教育委員会会議の傍聴者	延べ11人	定例会12回
	議事録の公開、広報・広聴活動	—	議事録（概要）、会議日程を ホームページへ掲載
	教育委員の研修会等への参加	延べ3回	「入間地区教育委員会連合会研修会」ほか

【教育委員会会議の議案数】

項 目		議案数(件)	議案の内容
会議の内容	教育行政の運営に関する基本方針を定めること	7	「教育行政の重点施策について」ほか
	教育委員会規則・規程の制定及び一部改正、又は改廃すること	5	「飯能市立小・中学校の通学区域に関する規則の一部を改正する規則（案）について」ほか
	教育費予算、その他議会の議決を経るべき議案の原案を決定すること	7	「令和2年度飯能市一般会計補正予算教育費（案）について」ほか
	教育委員会の所管に属する学校その他の教育機関を設置し、又は廃止すること	0	
	人事に関すること	15	「令和3年度飯能市教育委員会事務局等管理職人事（案）について」ほか
	その他	6	「奨学金の貸与について」ほか
合 計		40	

【評 価】

開かれた教育行政を推進するため、市ホームページを活用し、教育行政の重点施策や教育要覧（「飯能の教育」）の掲載及び会議日程や議事録（概要）等の情報提供について、教育委員会の透明性を高めることに努めました。

また、平成28年度から令和2年度までの計画である「第2期飯能市教育振興基本計画」（以下「計画」という。）に基づき、計画的、効率的に教育行政の推進に努めるとともに、市長部局との連携を一層強化して計画の実現に取り組みました。

同計画において、施策の達成目標として数値化が可能なものについては、具体的な指標を掲げており、令和2年度の達成状況は次のとおりです。

第2期飯能市教育振興基本計画 数値目標の結果

【学校教育課】

項 目		平成30年度	令和元年度	令和2年度	達成度	目標値（令和2年度）
将来の夢や目標を持っていると回答した児童生徒の割合	（小学校）	87.6 %	88.0 %	86.8 %	91.4 %	95.0 %
	（中学校）	78.1 %	78.7 %	81.6 %	102.0 %	80.0 %
学校で取り上げた人権課題の数	（小学校）	91 件	88 件	118 件	98.3 %	120 件
	（中学校）	50 件	53 件	73 件	102.8 %	71 件
体力テスト5段階絶対評価で上位Aランク（A・B・C）の児童生徒の割合	（小学校）	81.7 %	83.8 %	— %	— %	80.0 %
	（中学校）	84.7 %	85.1 %	— %	— %	85.0 %
小・中学校応援団のボランティア総人数		1,695 人	1,616 人	1,414 人	70.7 %	2,000 人

※令和2年度「体力テスト5段階絶対評価で上位Aランク（A・B・C）の児童生徒の割合」については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、未実施

【教育センター】

項 目		平成30年度	令和元年度	令和2年度	達成度	目標値（令和2年度）
タブレットP Cの配置校	（小学校）	12 校	12 校	12 校	100.0 %	12 校
	（中学校）	6 校	8 校	8 校	100.0 %	8 校

【学校教育課・生涯学習課・公民館】

項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	達成度	目標値（令和2年度）
家庭教育学級への総参加者数	1,120 人	1,579 人	182 人	21.4 %	850 人

【生涯学習課】

項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	達成度	目標値（令和2年度）
青少年育成活動の参加者数	365 人	252 人	9 人	3.6 %	250 人
青少年ボランティア延べ人数	24 人	59 人	2 人	4.0 %	50 人
公開講座参加者数	3,288 人	3,609 人	— 人	— %	3,600 人
出前講座開催件数	137 件	110 件	51 件	72.9 %	70 件

※令和2年度「公開講座参加者数」については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、事業が中止

【公民館】

項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	達成度	目標値（令和2年度）
公民館主催事業数	334 事業	319 事業	83 事業	26.8 %	310 事業
主催事業参加者数	20,138 人	14,302 人	3,760 人	19.3 %	19,500 人

【スポーツ課】

項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	達成度	目標値（令和2年度）
市民健康ウォーキング事業参加者数	1,640 人	626 人	504 人	25.2 %	2,000 人
スゴ足イベントの参加者数	2,621 人	1,698 人	1,079 人	30.8 %	3,500 人
飯能新緑ツーデーマーチ参加者数	20,368 人	19,537 人	— 人	— %	25,000 人
スポーツ施設利用者数	295,445 人	257,246 人	168,322 人	57.1 %	295,000 人
学校体育施設開放事業における利用人数	120,358 人	120,010 人	57,607 人	41.7 %	138,000 人

※令和2年度「飯能新緑ツーデーマーチ参加者数」については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、事業が中止

【図書館】

項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	達成度	目標値（令和2年度）
図書館年間利用者数	106,393 人	106,182 人	78,744 人	70.3 %	112,000 人
年間貸出点数	5.24 冊	5.22 冊	4.03 冊	69.5 %	5.8 冊
図書館来館者数	232,684 人	228,970 人	125,216 人	54.2 %	231,000 人

【博物館】

項 目	平成30年度	令和元年度	令和2年度	達成度	目標値（令和2年度）
ホームページ「地域の歴史情報」の項目数	6 件	9 件	11 件	100.0 %	11 件
博物館資料整理済件数	68,316 点	69,358 点	69,889 点	122.6 %	57,000 点
年間入館者数	41,533 人	36,602 人	23,733 人	79.1 %	30,000 人

6 学識経験者の意見等

点検・評価にあたり、客観性・透明性を確保する観点から、外部評価者として、駿河台大学の教授2名から次のような御意見等をいただきました。

【各事業の目標設定と評価結果等に対する意見、助言】

- 学校給食調理業務の民間委託については、今後も教育委員会として安定した業者の確保に努めるとともに、食の安全に注視し、状況の把握に努め、より良い状況であり続けるように模索をお願いしたい。
- 奨学金貸付事業については、必要な人にうまく利用してもらえるように周知を図るとともに、奨学金の返還の状況などについても視野に入れて検討を続けていく必要がある。
- 「学びの改革」の推進、協同的な学びによる授業の充実について、「学び合い」を取り入れることで、授業が改善され、確かな学力と自立する力が育成されるのか、短期的な成果と長期的な成果の両方を見据えていく必要がある。現段階ではとにかく取り組むということが目標になっている感がある。学びの共同体の理念を絶対視し過ぎず、様々な可能性を念頭に置いたうえで、飯能市の子どもたちに真に必要なものは何かを検討いただきたい。
- 「1人1台」のタブレット端末の導入は、時代に合った教育をしていく上では、極めて重要な意味を持っており、それらを取り入れた教育の展開は大変評価できる。
- 授業等でタブレット端末を使い、いつでもどこでも調べることができる、1人1人の考えたことを共有できることは、子どもたちに深い思考と協議を促すコミュニケーションツールとして期待できるが、一方で目の前にいる人を見ず、画面の中だけのぞき込むことにならないように注意する必要がある。タブレット端末等便利なツールがなくてもコミュニケーションが図れるような力を育む教育は引き続きお願いしたい。
- 今の子どもたちはインターネットなしで生きていくことはできない世代。早い時期から、ICTの便利さと引き換えに危険もあるということを伝えるため、情報モラルの育成は非常に重要である。また、保護者のインターネットリテラシー向上のための啓発活動等も併せて行えるとよい。
- フィンランドの教育を取り入れ、自然豊かな飯能市の地域の実情に応じた環境教育を展開していこうとする試みはよいと思う。コロナ禍を乗り越え実現して欲しい取組である。
- 校務支援システムの活用による働き方改革の推進については、教職員が心のゆとりを持って子どもたちと接する時間が持てるように、更に工夫して欲しい。

- 教職員の資質・能力の向上を図る研修の推進について、教職員の負担にならないようにと明言されていることは大切な視点である。教職員にとって有意義な取組としていただきたい。
- 放課後子ども教室実施事業については、ミュージカルをはじめ、遊びや体を動かすことに重点を置いたプログラムなど工夫されており、地域や関係機関などとも連携したよい取組が行われている。
- 公民館等の各種事業の情報発信について、対象を誰に想定するのかにより、フェイスブックやツイッター、インスタグラム、ラインなどを使い分け、活用することも検討が必要である。
- コロナ禍で市の様々なスポーツイベントが開催できなかったことは残念である。各種スポーツ・レクリエーション団体の支援及び連携については、ニーズを把握し、次の取組につなげて欲しい。
- 博物館活動の充実においては、生涯学習課等とも連携し、ホームページやSNS等を利用して収蔵資料を紹介することで、博物館への関心を高め、更に知名度が上がることを期待している。
- コロナ禍にもかかわらず博物館事業（八王子車人形の公演）が盛況だったのは何よりである。各部署でやむを得ず中止した事業も多くあった中での成功事例は、今後の事業の企画、実施に参考になるのではないかな。

【総 括】

- 限られた予算の中で、効率的に施策・取組を実行されている点は大いに評価できる。各施策・取組を受ける側の人たちの満足度調査を充実させて、数値化していくことも必要である。
- コロナ禍の大変な中、様々な苦労をしながら、各事業を進めていたと思われる。コロナ禍のもとでできなかったことが多々あるかと思うが、コロナ後に何を残すのか、変更を加えても維持したいものなのか、取りやめてもよいものなのか等を真剣に検討する良い機会を得たとも言える。各取組について、維持・復活ありきではなく、今、本当に市民の方々が求めているものは何か、今は市民の方々の意識は薄くても市として今後を視野に入れて提供すべきものはあるのかなど、幅広く検討していただきたい。

7 おわりに

教育委員会の事務に関する点検・評価は、今年度で14年目となりました。本市の教育振興のための施策を着実に実現できるよう、中・長期的な視点に立って、毎年各所管が目標を掲げ事業展開を行っています。重点施策として評価シートに表記されていない事業もありますが、計画に基づき各所管で確実に事業を展開しております。

令和2年度事業の評価結果については、2人の学識経験者からコロナ禍のもと特殊な状況において実施が困難な事業もありましたが、概ね妥当である旨の御意見をいただきました。また、更なる飯能市の教育行政推進のため、教育現場や市民のニーズを踏まえた施策、事業実施後の教育効果や市民満足度の検証、コロナ後も見据えた中長期的な視点など、貴重な御意見をいただきました。

平成28年度から令和2年度までを計画期間とする「第2期飯能市教育振興基本計画」においては、「共に学び 未来を拓く 人づくり」を基本理念に掲げ、5つの基本方針のもとに13の施策と85の具体的な取組を設定し、様々な事業を実施し、教育振興に取り組んできました。

改めてこれからの社会を見通すと、少子高齢化の加速や人生100年時代の到来、超スマート社会（Society5.0）の実現に向けた人工知能（AI）を始めとする技術革新の急速な進展など、大きな変化が予想されます。

このような社会の大転換を乗り越え、誰もが豊かな人生を生き抜くうえで、教育の果たす役割は、ますます重要になっています。

今後も教育委員会では、学識経験者の御意見を踏まえ、点検・評価を通じて、課題等の改善に取り組み、市民に分かりやすい事業展開を図るとともに、令和3年度から始まる「第3期飯能市教育振興基本計画」に基づき、より効果的な教育行政の推進に努めてまいります。